

信頼と実績のマグネット技術

導入前テストで、確実なスタートをサポート！

弊社の事前テストにより、効率的な設備の立ち上げをサポートいたします。お客様のワークでもテストが可能で、スムーズな導入をお約束いたします。

新規設計の製品に対しては、表面磁束密度測定や分離能力測定などを行い、導入前に性能をしっかりと確認していただけます。



※写真の製品は汎用マグネットシートセパレータ:FS100

MAGNETIC EQUIPMENTS AND ENGINEERING
SANSHIN

マグネット応用機器の専門メーカー

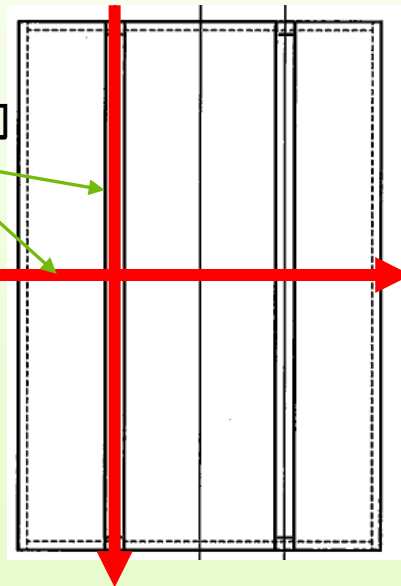
山信金属工業株式会社

表面磁束密度測定

メモリーハイコーダー
測定用プローブ

磁極

N S



製品



測定機器

※写真はイメージです

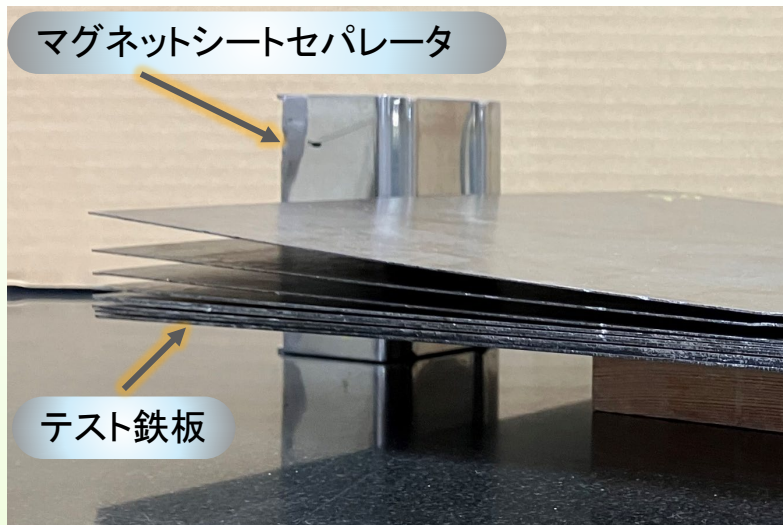
新規の製品に関しては、製品の磁場特性を評価するため、中央部分(上部図矢印のように)にプローブを通して最大表面磁束密度測定をしております。

リピートオーダー品に関しては、過去の実績データに基づき対応いたしますが、ご希望があれば実測も承ります(別途費用がかかります)
お気軽に弊社営業までご相談ください。✉

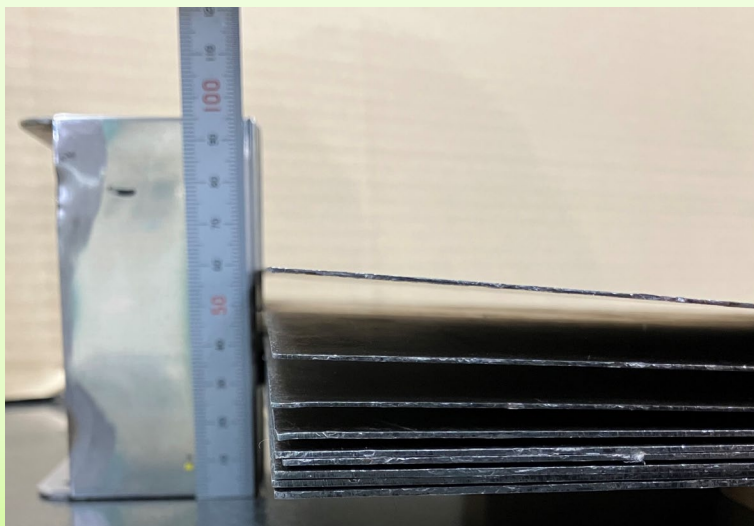
※テスラは磁束密度の標準的な単位です。1平方メートルあたり1ウェーバの磁束を持つことを1テスラと定義しており、これは従来CGS単位系のガウスに代わるSI単位系の表記です。1テスラは1万ガウスに相当、1ミリテスラは10ガウスに相当します。



マグネットシートセパレータ



テスト鉄板



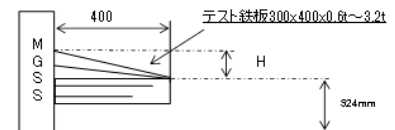
試験報告書



製番/図番	P***-*/****-*	試験日	
製品名称		試験担当	
客先名	***株式会社	客先注番	
発行先	***株式会社	指示	
備考			

試験項目: 分離能力測定、表面磁束密度測定

1. 分離能力測定

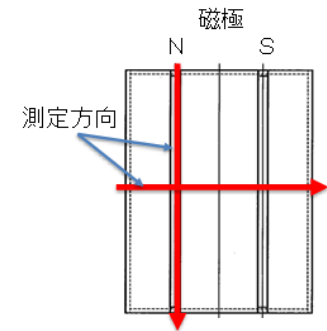


H寸法	0.6t	0.8t	1.0t	1.2t	1.6t	2.3t	3.2t
	(mm)						

2. 表面磁束密度測定

上下方向(横から) ***mm
最大テスラ mT

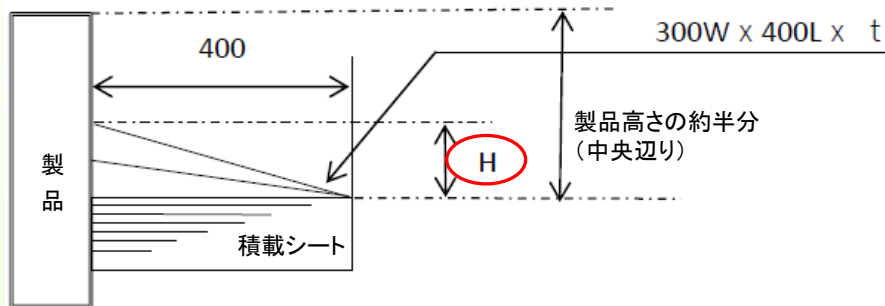
横方向(下から) ***mm
最大テスラ mT



※写真および提出書類はイメージです

分離能力テストは基本的に弊社のテスト鉄板を使用して行います。
お客様ワークでの測定をご希望される場合、弊社治具に合わない場合やワークの種類・数量などにより追加費用がかかる場合がございます。詳細は弊社営業までご相談ください。

分離能力測定

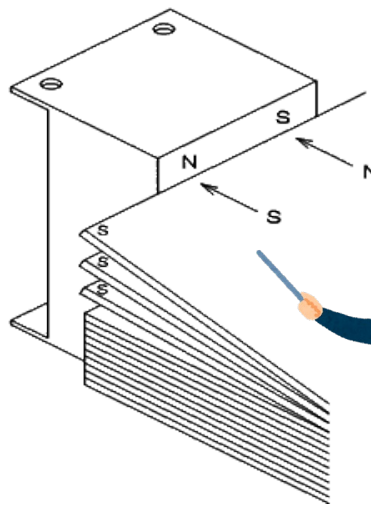


1. テスト鉄板300mm幅に製品1台配置
2. 積載シート上面を製品高さの中央辺りに配置
3. 上図H寸法を測定 (赤丸部分)
4. 各板厚種を3枚1セットで積載

<< テスト鉄板条件 >>

表面メッキ処理
油の付着状態: ドライ
サイズ: 300x400x0.6t~3.2t

なぜマグネットシートセパレータで鉄板が分離するの？



マグネットシートセパレータは、鉄板にマグネットが接することによって、各鉄板に反発する磁極が誘起される仕組みです。
例えば、N極に接した鉄板はS極となり、同じS極同士の鉄板は反発しあいます。
この反発力により、鉄板が1枚ずつ分離されます。

お問い合わせは...

本社: 03-3451-5241

名古屋営業所: 052-776-7817

メール: sales@sanshin-kk.co.jp

マグネット応用機器の専門メーカー

MAGNETIC EQUIPMENTS AND ENGINEERING
SANSHIN

山信金属工業株式会社

<https://www.sanshin-kk.co.jp>

※本書の内容は予告なく変更する場合があります
Ver.1.01(250312)